

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">ゼミナール I</p>	<p>対象学科・学年 教育教福3 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">三宅 奎介</p>
<p>授業テーマ</p> <p>子どもの視点から学校の現状を分析し、課題解決のための方策を具体的に考える。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>豊かな文明社会の中で、子どもの「生きる力」は損なわれている。第3の教育改革が叫ばれて久しい。教育再生会議の第1次報告は学校改革に結びつくのか。子どもたちにとってどうなのか。さらに、いじめや不登校問題をどう打開し、解決するのか。授業では学力問題をはじめ、学校の抱えているさまざまな問題を取り上げ、子どもたちが「楽しい学校、分かる授業」と感じられる学校をどうしたら構築できるのかを考える。あわせて、自らの指導力を育成する。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業態度（意欲・関心）と実践内容（調査・プレゼン・レポート）で評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>大阪は教育をどのように変えようとしているのか</p>	<p>著者 成山治彦</p>	<p>出版社 明治図書</p>
<p>参考書</p> <p>小学校学習指導要領 小学校学習指導要領解説（総則編）</p>	<p>著者 文部科学省</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>第1講 オリエンテーション ・授業の内容と演習のすすめ方</p> <p>第2講 今の教育にどんな課題があるのだろうか I ・教育再生会議から</p> <p>第3講 今の教育にどんな課題があるのだろうか II ・学校現場から</p> <p>第4講 問題行動とその背景 その I ・その子の問題行動をどう捉えるか</p> <p>第5講 問題行動とその背景 その II ・家庭の問題をどう捉えるか</p> <p>第6講 教育実習に向けてその I ・教育実習の課題と見通し</p> <p>第7講 教育実習に向けてその II</p> <p>第8講 教育実習を終えて ・実習経験の交流</p> <p>第9講 研究課題の選定 ・課題選定の計画</p> <p>第10講 課題解決の追求・研究① ・実地見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。</p> <p>第11講 課題解決の追求・研究② ・実地見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。</p> <p>第12講 課題解決の追求・研究③ ・実地見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。</p> <p>第13講 課題解決の追求・研究④ ・実地見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。</p> <p>第14講 課題解決の追求・研究⑤ ・実地見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。</p> <p>第15講 研究課題の調整と報告の見通し</p> <p>第16講 研究報告会・評価会① ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。</p> <p>第17講 研究報告会・評価会② ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。</p> <p>第18講 研究報告会・評価会③ ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。</p> <p>第19講 研究報告会・評価会④ ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。</p> <p>第20講 研究報告会・評価会⑤ ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。</p> <p>第21講 実践アクセス講義（現地学習） ・参観と受講（現職校長の講和）</p> <p>第22講 参観と受講のまとめ</p> <p>第23講 実践アクセス講義（現地学習） ・適応指導教室の参観（指導者の講和）</p> <p>第24講 参観と受講のまとめ</p> <p>第25講 個人発表① ・卒業研究に向けての発表</p> <p>第26講 個人発表② ・卒業研究に向けての発表</p> <p>第27講 個人発表③ ・卒業研究に向けての発表</p> <p>第28講 個人発表④ ・卒業研究に向けての発表</p> <p>第29講 ゼミの課題整理と研究のまとめならびに自己評価と相互評価をする。</p> <p>第30講 ゼミの課題整理と研究のまとめならびに自己評価と相互評価をする。</p>		